

取り組み名 福祉が創るつくばのエコオイル

エコで、社会復帰。

障害者が、バイオディーゼル燃料作りに大活躍。
町の需要もうなぎのぼり!

温暖化は
みんなの問題
を解決

障害者が職業訓練の一環としてBDF(バイオディーゼル燃料)の精製に取り組んでいます。原料の廃食用油は地元スーパーなどと提携して集め、精製したBDFは地元スーパーの配送車や市内のスクールバス等の燃料として活用。資源循環システムが構築されています。スクールバスを利用する生徒や関係する人々が温暖化問題へ意識を高めることにも役立っています。BDFの精製に携わる障害者の方たちにとっては、地域の人々とふれあうことで自信とやりがいを感じる機会になっています。



障害者数名と障害者施設の職員が毎日3~5カ所程度の提携先を回り、廃食用油を回収する。

団体名:社会福祉法人創志会つくばライフサポートセンターみどりの
所在地:茨城県つくば市
ウェブサイト:<http://www.sousikai.jp>

都道府県大会の名称

地球温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」
みんなで取り組むCO₂削減の環inいばらき



地元の私立高校のスクールバスに給油。生徒たちの環境意識向上にも役立っている。

取り組み名 てくてく・りんりんプラン

燃やすなら、ガソリンより脂肪でしょ?

自転車&徒歩通勤で運動不足も解消。
市役所ぐるみの「てくてく・りんりんプラン」。

地球を救え!
てくてく・りんりん
プラン

伊勢崎市では職員に、通勤時に「てくてく」歩いたり、「りんりん」自転車に乗ったり、公共交通機関を利用することを推奨しています。温暖化や大気汚染といった環境問題への対策であると同時に、通勤時の交通混雑の緩和も期待できます。職員自らが行動することで、市民や事業者にも協力を呼びかける効果もあります。データは毎月きちんと集め、CO₂排出削減量を測定。熱心に取り組んでいる職員や部署名は庁内で公開し、より多くの職員に参加を呼びかけています。



市長(写真中央)自ら、自転車で通勤し「てくてく・りんりんプラン」をPR。

団体名:伊勢崎市役所
所在地:群馬県伊勢崎市
ウェブサイト:<http://www.city.isesaki.lg.jp>

都道府県大会の名称

ストップ温暖化大作戦!
CO₂CO₂(コツコツ)減らして 広げよう循環型社会!



庁舎の前には大きな看板を掲げ、参加を呼びかける。